

第2章 6つの重点アクションプラン

将来の田辺市のまちづくりを見据え、地域の未来づくりに取り組むには、地域についての理解を深め、地域の抱えている様々な課題に関心を持ち、その解決に向けた取組を行い、新たな価値の創造へと結び付けていくことが求められています。

後期基本計画の策定にあたり、市民参画の場として市内20か所の地区公民館で開催した「地域シンポジウム」で話し合われた内容や、社会教育委員会議による後期基本計画策定のための基本的な考え方の答申に基づき、特に力点を置いて推進する施策として、「6つの重点アクションプラン」を設定します。

重点プラン1 「人をはぐくみ 人をつなぎ 地域を創る 生涯学習のまち・田辺」宣言の制定

生涯にわたり自ら学びながら心豊かな人間性を培い、人と人をつなぎ、明るく活力あるまちづくりを市民とともに進めるために、「人をはぐくみ 人をつなぎ 地域を創る 生涯学習のまち・田辺」宣言の制定を目指します。

宣言の制定により、地域課題を解決し、新たな価値の創造へと結び付けていくといった地域づくりにおける生涯学習の果たす役割を広く市民に喚起するとともに、本計画を市民と行政が協働で推進する生涯学習のまちづくりを目指します。

重点プラン2 輝け！地域の未来塾の開催

地域シンポジウムでは、各地域に共通する課題が出されたと同時に、地域により大きく異なる課題も抱えていることが分かりました。こうした課題を解決するためには、自分たちの地域、暮らしは自分たちの手で守り、創っていくとする自治の精神を持った人材を育むことが必要です。

全ての地区公民館で地域ごとのテーマ設定をした「輝け！地域の未来塾」を開催し、地域それぞれの課題の解決と新たな価値の創造に資する人材育成に取り組みます。

企画、運営にあたっては、公民館長、主事だけでなく、様々な立場の住民が参画した企画委員会を設けます。

重点プラン3 「縁」パワーメント講座の開催

「地域コーディネーター養成講座」や「まちづくり市民カレッジ」などの修了生が、その経験を生かして、公民館活動や地域づくり活動に継続的に参画していくためには、修了生を「一人にしない」ことが大切です。修了生の地域づくりへの想いを結び続け、学びから実践へとつないでいくためには継続的な支援が必要です。

修了生が定期的に交流し、地域づくりについて学び直すことにより、更なる能力の向上を図ることを目的とした「『縁』パワーメント講座」を開催します。

実施にあたっては、修了生をはじめとする市民参画により、企画、運営を行います。

重点プラン4 学社融合推進本部の設置

前期基本計画においては、小・中学校とその校区内の公民館を同時に研究指定し、学校と公民館が連携した学社融合事業の先進的な取組を行い、研究発表会を開催し、全地域に研究成果の普及を図りました。

学校教育と社会教育が相互にその教育力を結集し、地域の教育力を高め、地域ぐるみで子供を育てる学社融合の取組を更に発展させるために、地域の実情に応じ、全ての小学校区や中学校区において、地域の関係機関・団体等が参画する「学社融合推進本部」を設置します。

重点プラン5 地域力を高める公民館活性化モデル事業の実施

地域課題を解決し、新たな価値の創造へと結び付けていくには、地区公民館において、地域の特色を活かした取組を進め、地域力を高めることが求められています。

各地区公民館の地域生涯学習計画に基づき、地域の課題解決のために、「防災」「環境」「産業」「子育て」など、テーマを定めたモデル館を設定し、特色を生かした取組を進める「地域力を高める公民館活性化モデル事業」を実施します。

モデル館の設定においては、各地区公民館が企画内容などのプレゼンテーションを行い、決定するコンペ方式を用います。

重点プラン6 地区公民館大会の開催

市民の学習活動が一層活発化し、より多くの市民に生涯学習活動を普及させるためには、地域において活動発表の場や学習成果を生かせる場づくりが求められています。

また、地域シンポジウムでは、地域の夢や将来、それを実現させるにはどうしたらいいのか、公民館を活用してできる第一歩などについて、話し合いました。参加者からは、地域のことを話し合える機会を定期的に開催して欲しいとの声をいただきました。

こうしたことから、地域生涯学習計画に基づいた公民館の取組を地域に発信する場として、また、これから地域について話し合う場として、「地区公民館大会」を全ての地区公民館で開催します。